

中級者★問題

1. 「一石二鳥型」トイレとはどのような工夫がされたトイレですか。

- A) 1つの便器で大便と小便ができるトイレ。
- B) 大便と小便を一気に大量の水で流すトイレ。
- C) 環境を汚さずに、肥料もつくれるトイレ。
- D) 微生物の働きを利用するトイレ。

2. 本文の内容と異なるものを1つ選びなさい。

- A) 水への危機意識が高まる中、京都で水を考える国際フォーラムが開かれた。
- B) スウェーデンの NGO が紹介したトイレは一石二鳥型の優れたトイレだが、途上国での普及が難しい。
- C) 途上国ではトイレ事情が悪く、それが感染症などの病気の原因だと指摘されている。
- D) 節水トイレの国際標準化はまだなされていないが、今回のフォーラムでこの課題についても話し合いがされる。

3. 次の文章の□に入る語の組み合わせが正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

このままだと□がさらに深まると心配されている。「□」と呼ばれるトイレは□を肥料として利用し、水をほとんど使わずに、汚物を□的に処理できる。また、微生物の働きを活かして、汚物を分解する□型のトイレは、富士山や北アールプスで、既に使われている。

- A) 水の危機 一石二鳥 汚物 衛星 節水
- B) 貧富の差 バイオトイレ 小便のみ 浄化 一石二鳥
- C) 地球温暖化 水洗トイレ 大便のみ 清潔 次世代
- D) 水の危機 エコロジカル・サニステーション 大便と小便 衛生 自己完結